どうな
堂奈さん
きょうだい
てんの
天之くん
どうなってんの!?
天茶供養編
⑧
諸霊供養札
後編
今回は基本五基の
「○○家祖先代々無縁絪姻萬霊」
「○○家祖先代々鳥獣虫魚樹木草之霊」
この二つの供養札の意味を学ぶぞ
私たち諸霊供養札の意味が分かってきたわね
おいおい学びは終わらんぞ!!
わっ
ペン師匠!!
は〜い
まずは「無縁絪姻萬霊」からじゃ
「いんいん」って?
「絪姻」とは人のたねのことで「精子」と「卵子」のことじゃ。
精子と卵子が結びつき受精卵となって赤ちゃんが誕生することは知っておるな
はい

女性は
生まれた時に
約二〇〇万個の
卵子を
持っているが
思春期を
迎えた頃には
三十万個まで減り、
毎月一つの卵子を
排卵する際に
一〇〇〇個の卵子が
消えているんじゃよ。

その選ばれし
一個の卵子であっても
タイミングよく
精子と出合わなければ
役目を果たせず
体の外に排出される
運命となる

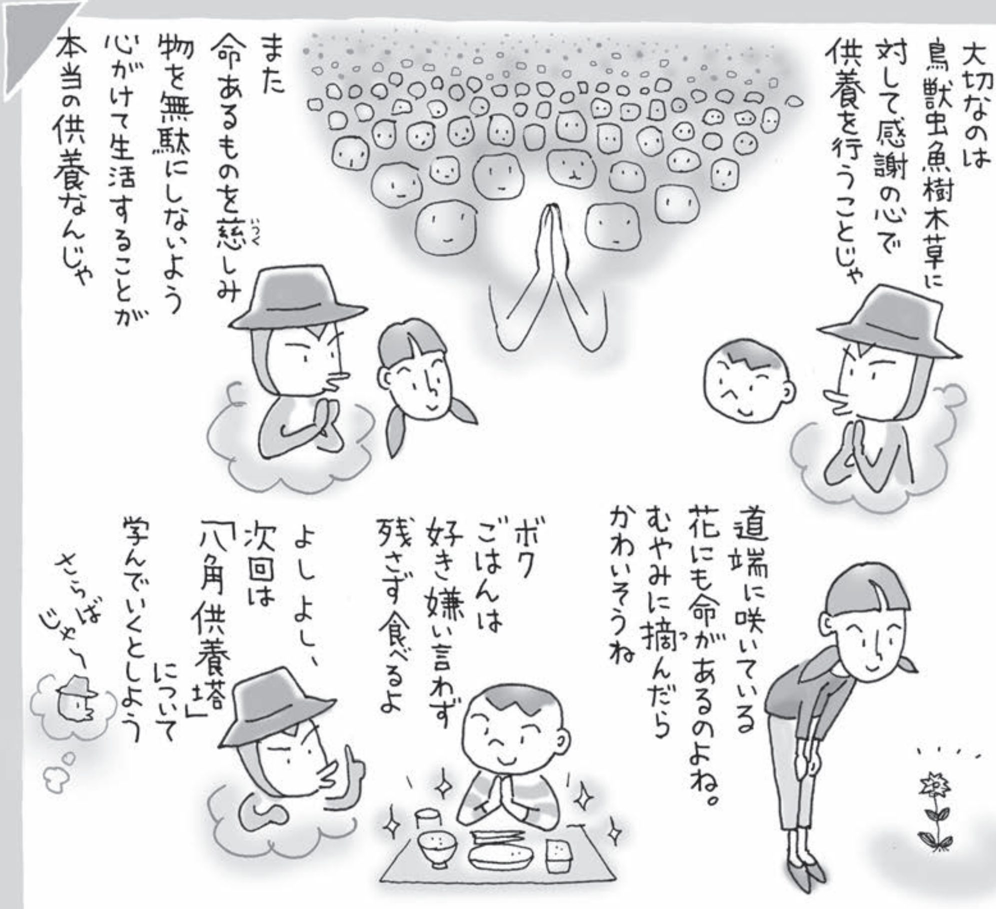
知らないうちに
たくさんの「命のもと」が
消えてしまって
いるのね……

このように
目的を果たせずに
縁が切れてしまった
無数の霊魂（みたま）に対して
ご供養するのが
この供養札なんじゃ。

今生きている
我々は
先祖代々
こうした
無数の命
の上に
存在して
いることを
忘れては
ならないんじゃよ

忘れないためにも
毎日心を込めて
ご供養しなくちゃね

次は「鳥獣虫魚樹木草之霊」じゃ。これを見て何が思い浮かぶかな？
とり、けもの、むし、さかな、き…
人間以外の命ってことかしら
そうじゃ！
ところで今日のお昼ご飯は何が入ってたかな？
カレーだったからお肉が入っていたわ
たまねぎにんじんも…
牛乳も飲んだよ
そう、我々は動物や植物の命を頂いて生きているんじゃ
一本の草木や小さな虫にも命があり、それは人間の命と等しく尊いもの。
私たちが必要な衣食住は鳥獣虫魚樹木草の命の賜物（たまもの）なんじゃよ



命を捧げてくれた霊魂に心を向ける

今回、取り上げた二つの供養札は、私たちが気づかないうちに犠牲となっている霊魂の存在を忘れずに、感謝の心をもってご供養をするためのものです。死後、誰からも心を向けられず、忘れ去られた時の霊魂の寂しさは計り知れません。それもまた、人のために命を捧げてくれた霊魂であれば、人として感謝のご供養をすることは礼節として当然のことです。

前回から、基本五基の中の諸霊供養札について取り上げてきましたが、諸霊供養札の中には他にも、生活する上で重要な「土地・家屋関係」の霊魂、または、仕事上の関係の霊魂にご供養ができる「得意先・従業員関係」等の供養札があります。また御五法修業等で示された場合に、「幼児・流産無縁」「敵味方無縁」等、家系に流れる因縁関係の解消のために頂ける供養札があります。

諸霊供養札によって、関係する霊魂に対し真心からのご供養をすると共に、自ら精神伝統を切り替えていきましょう。